

地域防災ワーカー養成入門編

日ごろからの防災学習講座[1]

～市民による災害時支援活動～

東日本大震災から1年を越え、阪神・淡路大震災から17年を数えます。地震や津波は、またいつ起こるかもしれません。大阪に住む私たちも、日ごろから防災・減災の知識を身につけ、‘いざ’という時に、自身や家族、仕事場やキャンパスの同僚たちなど、その時、身近にいる人々や近隣住民と協働し、助け合えるスキルを身につけておきたいものです。

特に、大都市圏における日中の発災の場合、多くの帰宅困難者が出現します。その多くは生産者世代です。帰宅へはやる気持ちとともに、今居るところで、災害弱者といわれる人たちへ支援の手が伸ばせたら、多くの方たちが助かる結果につながることでしょう。

市民フォーラムおおさかでは、防災・減災への取り組みが進むよう、災害時の支援のスキルを身につけていただき、市民共助の絆を構築していきたいと考えています。

また、東日本大震災で、大阪へ避難されている方々の語り合いの場（サロン）を今後、継続的に開催していくため、ファシリテートのスキルも学んでいきたいと考えています。

日常の防災・減災意識の啓発活動と、被災者への大阪での支援活動に関心のある方の受講をお願いします。

1. 日時・内容 ※開催はすべて「土曜日・14:00-17:00」です。

月 日	テ ー マ	講 師
① 5月12日	「災害時の助け合いと日ごろからの支援スキル学習の大切さ」	被災地 NGO 協働センター代表・村井雅清さん
② 5月26日	「災害時体験」「大阪市の備蓄倉庫」	大阪市立阿倍野防災センター、阿倍野備蓄倉庫
③ 6月9日	防災教育のノウハウ	市民フォーラムおおさか・実行委員
④ 6月23日	「大阪市における災害対策の取り組みについて」 「帰宅困難になったら」	大阪市危機管理室 NPO法人サービスグラント関西事務局長・岡本祥公子（おかもとさよこ）さん
⑤ 7月7日	被災者のサロン開催のためのファシリテートを学ぶ	（社福）大阪児童福祉事業協会アフターケア事業部部長 藤川澄代さん

2. 会 場

大阪市立社会福祉センター ほか（講座によって異なる）

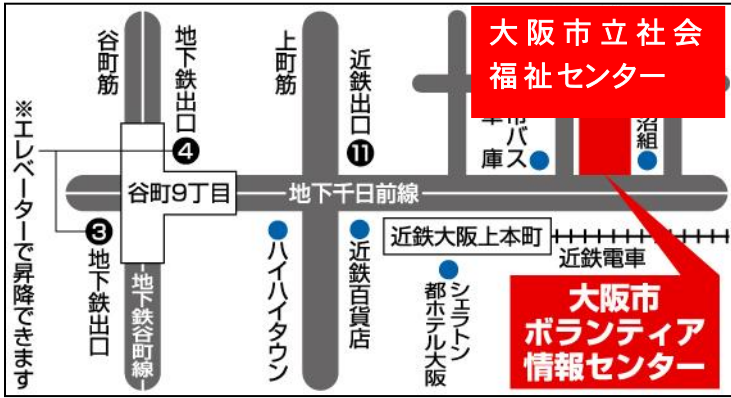
3. 対 象 20人（対象：18歳～64歳）

4. 資料代 2,000円（当日徴収します）

主 催

市民フォーラムおおさか実行委員会

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター



[会場案内] 大阪市立社会福祉センター

※講座によって場所は異なります。

- ・地下鉄「谷町九丁目」下車徒歩約10分
- ・近鉄線「大阪上本町」下車徒歩約5分

【申込先・問合せ】市民フォーラムおおさか実行委員会

事務局：社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 大阪市ボランティア情報センター
(担当：川口、坂本、河崎)

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 市立社会福祉センター内

電話：06-6765-4041 FAX：06-6765-5618

Eメール：vicpc25@osakacity-vnet.or.jp

※市民フォーラムおおさかのホームページはコチラ↓↓
<http://sforum-osakacity.blogat.jp/blog/>

申込締切：定員に達し次第

FAX：06-6765-5618

日ごろからの防災学習講座[1]～市民による災害時支援活動～

参加申込票

参加者名		性別・年齢	<input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 () 歳
住所	〒	連絡先	TEL： FAX：
申込希望した理由			